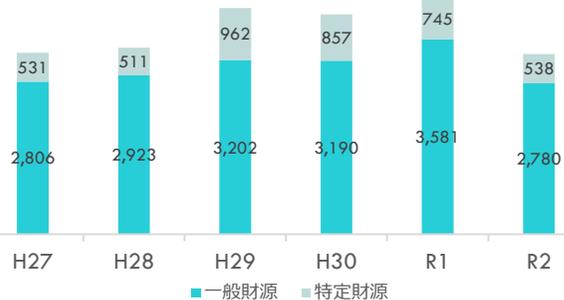


文化観光課

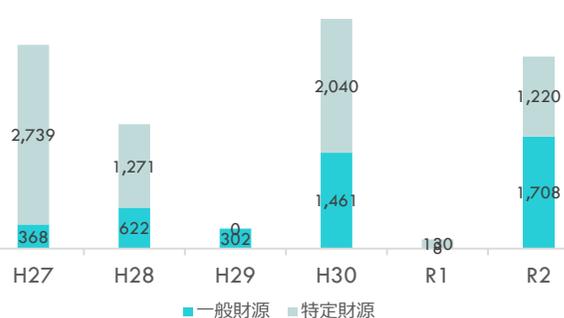
経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)



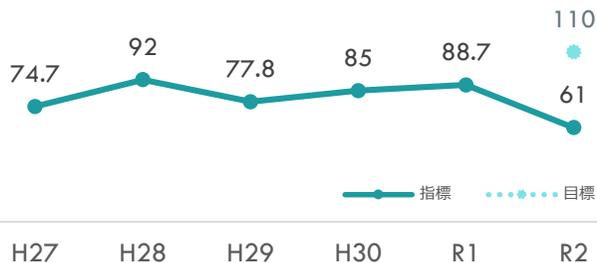
現状と課題

日本遺産である「旧閑谷学校」と「備前焼」、また、ご当地グルメとして「カキオコ」などは、全国的にも知られているところですが、観光客の数は年々減少傾向にあります。本市の観光客の特徴として、観光バスやマイカーを利用した広範囲を移動する日帰り・通過型の観光が主流となっていることから、近隣市町と連携を図りながら周遊型や体験型・学習型観光への誘導を図ることが必要です。

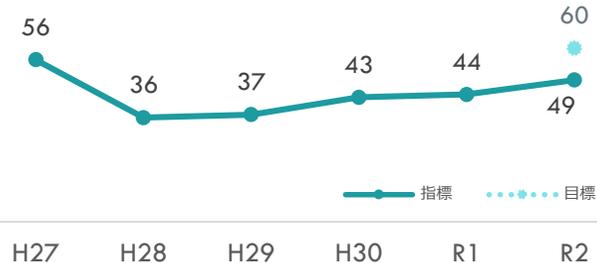
今後の本市の観光振興では、本市を訪れる観光客に、市民自らが、ふるさとを自慢できる知識を身につけることが重要です。

成果指標

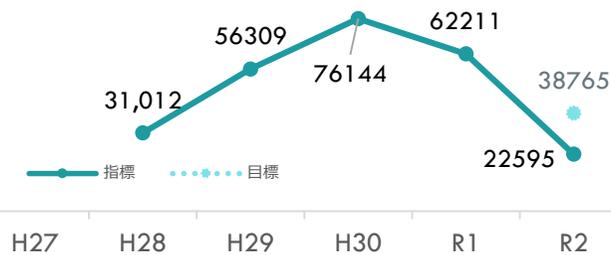
市内観光施設の入場者数(万人)



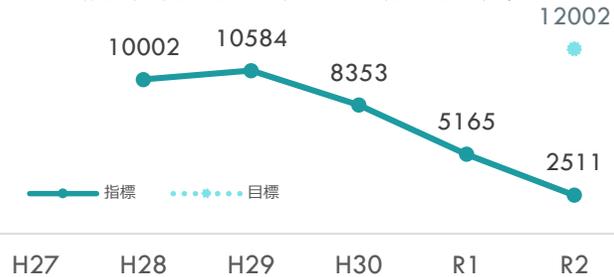
備前市観光ボランティアガイド登録者数(人)



備前市観光SNSの閲覧数(件)



備前市観光ボランティアガイド利用者数(人)



指標の説明・・・

観光ボランティアガイド数が増えれば、観光客への「おもてなし」だけでなく、来訪者との交流も進むと思われます。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行(万円)	特定財源(万円)	アウトプット(どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム(どれだけの成果が得られたか)
周遊型観光への誘導	備前市観光ツアー促進補助金	市内観光施設等を2か所以上立ち寄る団体旅行を実施した旅行会社へ対し、補助金を交付する。	臨時的経費	28万円	—	補助交付件数 18件	備前市への誘客人数 567人
おもてなしの受入体制の充実	観光ボランティアガイドの促進	観光ボランティアガイドへ対し補助金を交付。ガイド実施を促進する。	臨時的経費	100万円	—	ガイドを実施した件数 158回	ガイドを利用した旅行者人数 2,511人
観光資源・観光イベント情報の認知	効果的な観光情報発信	Facebook、Instagramを投稿し、観光情報を掲載する。	—	—	—	SNS投稿件数 62回	SNS閲覧数 22,595回
観光施設等受入環境の整備	観光施設整備	故障・老朽化した観光施設を整備する。	普通建設事業費	2,154万円	935万円	観光施設整備件数 5件	旅行者が快適に観光できる環境が整備され、満足度の向上が図れた。
備前焼の振興	伝統的産業振興補助金	備前焼を推進する事業の実施を目的に、備前焼のまちづくり推進協議会へ補助金を交付。	臨時的経費	309万円	—	備前焼のまちづくり推進協議会へ補助金を交付	事業実施件数 6件

施策の評価

一次評価者	役職	文化観光課長	令和元年度後半から新型コロナウイルス感染症が蔓延し始め現在に至っている。各種イベントも中止となり、また、渡航禁止により海外からの誘客も見込めない状況となっている。2年度は、SNSを利用した観光PRに注力し、併せて、コロナ終息後に向けて、伊部駅1階の土産物売り場の改修やオンラインマルシェなど、SNSによるオンラインイベントを実施した。結果として、コロナにより2年度の観光客数は大きく落ち込んだが、観光ボランティアガイドは年々増加してきており、「おもてなし」の体制は順調に整備されてきている。今後は、ワクチン接種者も増加してきているので、対策を講じた上での「おもてなし」の方策を検討していく。
	氏名	馬場 敬士	
二次評価者	役職	産業部長	アフターコロナ、ウイズコロナ、失われた観光を取り戻そうがキャッチフレーズとなるでしょうから、どれだけの備前らしさやおもてなしが出来るかが鍵となるような気がしています。この時期だからこそ、今までできなかった見直しや改善ができると思います。来年のデスティネーションキャンペーンや瀬戸内芸術祭に向けてしっかりと準備してください。また、日本遺産であり備前市を象徴する「旧閑谷学校」と「備前焼」という観光資源を活かすための取り組みに集中したいと考えています。
	氏名	岩崎 和久	